



## Jアラート発信時避難訓練

7月18日（火）に、業間の休み時間を使ったJアラート発信時避難訓練を行いました。

午前10時25分に、近隣の国から飛翔体が発射されたという情報が出されたことを想定し、訓練に臨みました。業間時間の訓練ということで、児童の中には校庭で遊んでいた人や、委員会のために図書室などの特別教室にいる人もいました。教室にいる児童は、避難が必要であることを放送で聞き、窓が割れて飛散することに気を付けながら、防災頭巾をかぶって頭を守り机の下に隠れました。また、先生の指示を聞いて注意して教室を移動し、周囲に窓がない廊下のスペースに避難する学年もありました。教室にいなかった児童は、検索の先生が探し無事が確認されました。休み時間の避難訓練にもかかわらず、児童は真剣に訓練に取り組むことができました。

Jアラートが発信されるのは、学校にいるときだけとは限りません。登下校中や、自宅にいるとき、家族での外出中など様々な状況が想定されます。児童に全ての状況での行動を伝えるのは難しいので、自分の命を守るためにどうしたらいいかを「考える」ことが大事であることを担任の先生から話してもらいました。自分の命を守る行動がしっかりできるよう、今後も継続して指導をしていきます。

基本的な避難行動は、下記の内容を参考にしてください。

### 国が示す弾道ミサイルが 落下する可能性があるときの避難方法

屋外にいる 場合	建物が無い 場合	屋内にいる 場合
		
 <p>地下： 地下街や地下駅舎 などの地下施設</p>		
<p>できる限り頑丈な建物や地下に避難する</p>	<p>物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る</p>	<p>窓から離れるか、窓のない部屋に移動する</p>

※内閣官房「国民保護ポータルサイト」より